

校長のつぶやき

校長室便り 第45号

令和2年1月8日 山内

○始業式校長講話 ―一生の計は勤めにあり 一家の計は身にあり― (抜粋)

「座ってください」終業式にあたり一言お話をします。
皆さん改めまして新年あけましておめでとうございます。
年末年始はどのように過ごしましたか？

幸い今朝の時点で岩高生も先生方も誰も大きな事故等にまきこまれたという報告は受けておりませんので私はほっとしております。大雪の中、元気に登校してくれてありがとうございます。

さて、12月の終業式で、皆さんに「一年の計は元旦にあり」という話をしました。皆さん一年の最初の日で一年の計画・目標を立てたのでしょうか。計画を立てていない皆さんは立てたその日が元旦ですから、まだ遅くありません。卒業後に新たな道に進む3年生の皆さんは4月1日が元旦かもしれません。是非、実行してみてください。

実は「一年の計は元旦にあり」には続きがあります。「一生の計は勤めにあり」「一家の計は身にあり」となります。一生懸命に働けば生涯が豊かになり、自分が健康であれば、家族が幸せになるということです。この一年、岩高生の皆さんが、学校生活に一生懸命勤め、何よりも健康であることを祈っております。

今年も岩高生の皆さん、先生方一人一人が意識を高く持って「安全で安心できる岩高」を作っていきます。以上で私の今日の話を終わりにします。今日も私のつまらない話をしっかり聞いてくれてありがとうございます。

○校長の冬休み ―先輩校長からの助言―

年末に「師」と仰ぐ久力誠先生（元宮二女高校長、前仙台城南高校長）宅で、小泉博先生（前多賀城高校長）小松敦先生（前石巻高校長）といった方々と宮二女時代の思い出話をする機会がありました。公立高校の校長を長く続けられ、現在も私立校の第一線で活躍されている先輩校長からのひと言ひと言は勉強になるものばかり。特に師と仰ぐ久力先生からは、「校長のつぶやきの連載がプレッシャーになって、肝心の生徒や先生方のことを疎かにしてはならないよ」と心を見透かされているかのようなひと言が心に残りました。連載が重圧にはなっていませんが、しばらく出していないと気にはなっていました。このとおり、たいしたものではありませんが、仕事に支障がない程度に今年も続けていきたいと思えます。



今朝はさすがに自宅のある仙台市も積雪があったので、いつもより早く家を出ましたが、二時間近くかかってしまいました。7時40分位に校門付近を通過してびっくりしました。職員室や事務室の先生方が総出で雪かきをしていてくれました。有志の岩高生も見受けられました。岩高の魅力は先生方のチームワークの良さ、そのことを表している一コマを垣間見て新学期最高のスタートが切れました。以上で今回の校長のつぶやきはお終いです。